

# 各支部総意を結集して叩きに突入

## 8/9、全組合員「対話オルグ」を実施 成田支部

「成田支部通信員」  
成田支部は8月9日から3日間、全組合員を対象とした「対話オルグ」を圧倒的に成功させました。

オルグに先駆け、7月30日に開催した拡大執行委員会において意志一致をかちとり、直ちに青年部を先頭に、立て看・ビラ貼り行動をはじめ臨調答申粉碎闘争に突入しました。

「対話オルグ」は、旅行・病欠・帰省者を除く全員を3日間、午前2回・午後1回の小集会に分け、いずれの時間帯でも参加できるように計画しました。

「ブルトレ」の裏切り取り引きへの怒りと批判が噴出した。

「対話オルグ」の内容として、①「答申」の基本骨子について... 国鉄経営の破産と国家財政

### 「銚子支部通信員」

臨調攻撃を転場からはねかえしていくための意志一致。銚子支部転場集会は、8月10日、10時30分から講習室において早船書記長の司会により開催された。宮崎支部長から「支部全体で臨調攻撃に対決して闘っていきましょう」との提起をうけた後、山口本部副委員長

### 「ブルトレ裏切り」「海宝・長谷川送りこみ」等、本部の裏切りに怒り集結中

の破産を労働者人民の犠牲でのりきるための、福祉切り捨て、労働組合破壊、徹底した合理化のもつ意味。②攻撃の主軸は「緊急措置11項目」攻撃とどう闘うか。③動労千葉の路線の正義性と勝利性(三里塚・国鉄基軸論)。④国労決起の動向と動労「本部」の「ヤニ鉄労」化路線。⑤動労「本部」革マルのブルトレ旅費返納の裏切りについて。⑥「57」ダイヤ改阻止、「乗車証廃止反対」10/11三里塚現地集会成功へ向けた具体的取り組みについて。以上の6点を中心に討論を進め、組合員からは多くの意見が出されました。特に「ブルトレ旅費返納」という動労「本部」革マルの裏切りは、全国鉄労働者に対する敵対であり、しかも自民党のボスや本社職員局長などという敵と酒をくみか

から「臨調攻撃の本質、情勢、動労千葉の取り組み」についての報告をうけ、質疑・討論に入った。この中で、今日、転場において電車乗務員のしや光幕を上げろという攻撃が東京を引き合いに出してかけられてきていること、ブルトレ旅費返納の裏切りと革マル海宝・長谷川の千葉送り

ゆして裏切り取り引きするなども、この他だ。徹底断罪すべきだ」「乗車証の廃止は絶対認められない」等の強い意見が出され、白熱した対話オルグとなりました。

### 三里塚 国鉄決戦で勝利

支部は組合員の多くの意見の集約として、「基本答申は支配体制を維持せんがための戦争体制づくりにとって、住民闘争や労働運動がじやまになっており、これを根絶やしにする意図の攻撃である。転場における当局との優位な力関係を一層強化するために、団結し、三里塚 国鉄の基軸をしっかりと立ち立てて叩いていこう。」「労働運動」で「11項目攻撃」全部をうけいれてしまつた動労「本部」革マル反動分子を打倒・掃蕩して「こう」と確認し、奮闘を誓いました。

こみ問題等で支部の全員が激しい怒りにもえていることが出された。また、まともな労働運動一つ展開できないで完全に動労東京地本革マル分子に良いように利用されているだけの「本部」派を解体・オルグし、動労千葉の三里塚 国鉄労働運動路線に確信をもって、闘っていく事を確認し、宮崎支部長先頭に田結ガンバローで終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!